



LDKが直線で繋がることでお部屋全体を見渡せ、ご家族の会話も弾みます。



リビング横の居室は建具で仕切ると個室に。奥様がお仕事で使用することも。

糸島の自然とつながる場所。

蛍の見える住まい

今回のお宅は 〇様邸 〇様邸

ご主人・奥様
お子様 3人
営業担当の岡本と編集スタッフが
お宅を訪問し、お話を伺いました。

Visiting Customer's House

我が家が
いちばん

www.yasunari-komuten.com/



ペレットストーブを備えた、ご家族憩いのLDK。ソファは、福岡西展示場「ORGA」の閉館時に開催したオークションで落札されたそうで、私たちも思わず懐かしい気持ちになりました。

家づくりのきっかけ

奥様／福岡市内のマンションで暮らしていましたが、3人目の子どもが生まれる頃から「もう少し広さが欲しい」と感じていました。特にコロナ禍で外出を控えていた時期は、家族全員が家にこもる生活が続く、息苦しさを感じて…。

夫婦ともに自然の中で育ったこともあり、「自然が多いところに引っ越したいね」と土地を探し始めました。

ご主人／当初は飯塚や宗像周辺なども候補にしていたのですが、どこもピンときませんでした。そんな時に偶然、妻がネットでこの糸島の土地を見つけてきたんです。

奥様／糸島は知り合いもいて、山や畑に囲まれた景色がとても心地よくて人との距離感が温かい点も魅力でした。

素材や環境に配慮した家に住みたいなと思っていたのですが、その時はまだ安成さんに決めていなくて。いくつか検討中だった土地のそれぞれメリット・デメリットなどを岡本さんが丁寧にまとめて説明してくださったのが決め手でした。

こだわった点は？

奥様／一番のこだわりは、広いリビングです。以前の住まいが狭かったため、自然と家族が集まり、ゆったり過ごせる空間を目指しました。

ご主人／生活動線も工夫しています。例えば、玄関からの動線は2つ設けて家族用と来客用を分けています。妻は開業助産師なので、お客様を迎える際はプライベート空間を通らずに案内できるようにしました。

奥様／生活感を出さないよう冷蔵庫やパントリーを見えない位置に置いたり、吊戸棚をなくし、ウッドデッキを延ばしたり。LDKを広くすっきりとさせました。また、将来を考えてトイレは2階には作らず、1階に2つ配置し、1階でほぼ過ごせる間取りにしています。

ご主人／打合せ中、妻は夢がふくらんでくるので、僕は「それいらなくない？」と現実に戻す役割でした(笑)。唯一こだわったのが、外壁。宿泊施設「やすらぎ館」の外壁が好きだったので同じ色にしました。**奥様**／そこだけは譲らなかったよね(笑)。